

故郷2nd KOKYO SECOND

自主映画制作やTV、映画の美術経験を持つ永桶宏樹と、身体表現を絵画にしてきた永桶麻理佳が手を組んだアートユニット。日常感覚の中から題材を見つけ、身近にアートを持ち込むことで刺激や疑問符を提示するのが目的です。

SCARTSモールA展示作品
活動サンプル4～9

活動サンプル4 お江戸3人娘／眠る人々 2016年 板・ペンキ/油彩 H183×W91cm

ついでにシリーズ第3弾。古風なものへという流れで、江戸の3人娘を考案。漆の赤をイメージしたグリザイユと浮世絵の平面描写を組み合わせた画風で描きました。ゲー、チョコキ、パーそれぞれ当時はあり得ない仕草で、現代的なポーズがつけられています。統一コンセプトの表裏のギャップは、江戸の前掛けや褌、裸足で踏ん張る凛々しさに比べ、なんだか疲れちゃった感の滲む今の人たち。三者三様のシチュエーションが伺えます。



活動サンプル5 あしたの家族

2017年 ベニヤ・油彩 H182×W112cm

お馴染みの顔出しパネルでトリッキーにしてみました。表面は昭和の家族写真、現代の父と母が顔を出しています。裏面は現代の家族。覗く後ろ向きの父と母、取り残された少年がどこかを見つめています。

活動サンプル7 0歳の自画像／青空

2018年 ベニヤ・油彩・ニス・コピートナー H182×W70cm

1956年作者誕生日の新聞記事に始まり、東京オリンピック、大阪万博、ロッキード、浅間山荘、オウムサリンと時代を貼り込んで背景にしました。ニスの吸着によってトナーを転写、紙のみ水で剥がす行為を繰り返して重ねるため、ウラ刷りになっています。赤ん坊の胸には1970年の新聞が突き刺さっています。裏面は現在の新聞。役割を終えた生活道具が積み重なって、消えかけ、区切り取られた空がわざとらしく塗られています。



活動サンプル8 マネキン回転箱 一モノとしての私、ヒトとしての貴方

2018年 ベニヤ・アクリル・ニス・エンビパイプ H183×W60×D60cm

子供の着せ替え遊びから着想しました。4体の女性マネキンが箱に描かれています。頭部、胸部、脚部とそれぞれ独立して回すことで、顔やポーズ、衣服が変化します。(未着衣が1面あり)ズレたり、マッチしたり、組み合わせを楽しめます。



活動サンプル9 漂う労働者たち

2019年 ベニヤ・アクリル・ニス・カラーコピー・ステンボード・水
H181×W90×D5cm 3基の水槽 H30×W15cmの労働者21体

水面にプカプカ浮いた労働者たち。ぬいぐるみ、花、スイーツに
コーージュされた電子部品、水の層がレイヤー効果を作ります。
消えていった職業と労働者、鑑賞者が万れうちわで扇いで変化させ
ることが出来る作品です。



SCARTSスタジオ1 展示作品

活動サンプル11~13

活動サンプル11 背ビレ症候群

2020年 ベニヤ・油彩・エポキシ樹脂・プラスチック片・
イルミネーションライト・発泡スチロール
H200×W500×D300cm

青い道を行く親子4人、その背中から衣服を破って、怪獣の背ビレが突き出ている。
道には原子炉図面が舞い落ちている。放射性廃棄物と私たちの環境、次世代に静かに
問う作品です。

